

千葉 ライフ・ライン ニュースレター No.165

【発行】千葉県テレビ伝道協力会
〒260-0021 千葉市中央区新宿2-8-2
CCCビル 「千葉ライフ・ライン係」
TEL 043-247-3058 FAX 043-247-3072
E-mail: info@chiba.life-line.tv
ホームページ <http://chiba.life-line.tv/>
郵便振替：00110-8-579669

【協力】財団法人 太平洋放送協会(PBA)
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台
2-1 OCCビル
TEL 03-3295-4921 FAX 03-3233-2650
E-mail: mail@pba-net.com
ホームページ <http://www.pba-net.com>
でんわ世の光 03-3291-9061

「一人ひとりを大切にする伝道の働き」

日本アライアンス教団 千葉キリスト教会牧師 山中正雄

東日本大震災からの復興が年々加速する中、福島の人々は置き去りにされているといわれています。残留放射線の被害のため、現在でも不安を感じている人が多いからでしょう。そこで心理的な葛藤に耐えながら、その地に残り伝道している牧師と家族を少しでも励まそう。まずキリスト教会から元気になってもらいたい。そうした願いからキリスト者の医療関係者が中心となり超教派の慰労会が企画され、妻と共に参加したことがあります。

私たちの主な務めは、福島に生きる人々の声を聞き取ることでした。お互いに語り合う内には見えない放射線と向き合う、日々の現実が徐々に見えてきました。これほど深い心の傷を負いながら、生きてこられたのか…。ただ私たちスタッフは悩みを聞くことしか出来ず、しばしば無力感で打ちのめされました。

時折気持ちが悪くなることもありましたが、一人の牧師が淡々と語った言葉を今でも忘れることができません。「若き日にキリストと出会い、救いの喜びで心が満たされ、この喜びを伝えたいと願い牧師となった。たとえ一人の人にしかキリストを伝えられなくてもよいと思って。福音を必要とする人々がいる限り、自分はこの地を離れることはない」と。

こうした純粋な願いは伝道者・牧師だけのものでなく、すべてのキリスト者のものです。またテレビ伝道番組「ライフ・ライン」の活動を支える力でもあるといえるでしょう。

一人の魂がどのようにしてキリストに出会うのか。その具体的なプロセスは様々です。人口の99パーセントがキリスト者ではない日本においては、本物の福音に触れるチャンスは多くはありません。とりわけ書物離れが進む現状を見ると、文書伝道には限界があり、これからはラジオ・テレビ・ネットを介する伝道が不可欠になるでしょう。

そうであっても不特定多数を対象とするマスメディアは、福音を伝えるための入口にしか過ぎません。最後は教会に導かれ、御言葉の解き明かしを通して、キリストと出会うことが求められるからです。キリストは99匹を残し一匹の羊を探し求める羊飼いとて、どんな土地にも福音の種を蒔き続ける農夫として、聖書の中に描かれています。与えられた賜物を活用し、一人ひとりを大切にする伝道の働きに参加したいものです。

お茶の間に福音！

チバテレビ土曜あさ7時、心をいやす30分「ライフ・ライン」

ご家族でお楽しみ下さい。